

使徒の働き

小さなはじまり

もくじ

- I. はじめに
- II. 使徒 1:1-11 天に昇る救い主
- III. 使徒 2:1-40 ペンテコステと呼ばれる日
- IV. 使徒 3:1-26 奇跡の名前

はじめに

はじめに

使徒の働きは、神の恵みが世界に溢れ出すストーリーです。この書において、福音の広がりほど顕著なものはありません。イエスは、福音が地域を超えて広まっていくことを約束しました。使徒の働きはイエスの死と復活の知らせが、エルサレムにいた弟子たちから、ユダヤ、サマリア、そしてローマ帝国の首都へと広がっていく様子を追っています。

さまざまな人々に福音を伝え続けることで、人々が集まり、教会が生まれ、さらには世界へ宣教するために人々を送り出されていきました。使徒の働きは、イエスの復活がいかにすべてを変えたかを記した歴史的な書物なのです。

神は福音の拡大の中心にいらっしゃいます。神は福音のメッセージの中心におられ、聖霊を通し、福音の拡大に責任を負っています。地理、民族、文化、言語、性別、富、迫害、弱さ、苦しみ、病気、投獄などの大きな障壁があるにも関わらず、福音は神の力によって広がっていきました。

これらの障壁の多くは難攻不落のように見受けられ、福音が社会の新しい層に伝えられると、暴動が起きました。しかし、神の救いの力が及ばない人はいませんし、贖いの恵みが必要な人もいません。

大きなストーリーの中に位置づける

使徒の働きは、この新しいクリスチャンたちの活動が、マイナーな宗派ではなく、神の救済計画の頂点にあることを示しています。旧約聖書では影にしか見えなかったものを、今、神はイエス・キリストを通してより完全に明らかにしたのです。使徒の働きの主旨は、見習うべき、あるいは避けるべき人間の見本を示すことではありません。むしろ、イエス・キリストによって成就された神の御業と、聖霊の力によっていかに教会が生まれたかを、繰り返し私たちに思い起こすように呼びかけています。福音の拡大は、旧約聖書や福音書を通して神が行ってきたことの集大成なのです。使徒の働きは、神がすべての人々に祝福を注ぐ偉大な源であることを明らかにしています。悔い改める機会さえも、神からの贈り物なのです。

天に昇る救い主

使徒 1:1-11

使徒 1:1-11

天に昇る救い主

聖書箇所

使徒 1:1-11

大きな目的

イエスは、世界の果てまで福音を宣べ伝えるために、私たちが聖霊で力づけると約束しました。ですから、すべての信徒は、イエスを宣べ伝え、イエスに従う人生を送るために、喜びをもって聖霊の力を受けることができます

概要

使徒の働きは、パウロの福音宣教の仲間であったギリシャの医師ルカによって書かれた書の第2巻です。第2巻もテオフィロに宛てて書かれています (使徒 1:1)。

使徒の働きは、ルカの福音書に示されたイエスの物語に続き、イエスの弟子たちが世界の果てまで福音を伝えるという内容になっています (使徒1:8)。ルカの福音書は異邦人世界に言及することから始まり、エルサレムでクライマックスを迎えます。使徒の働きはエルサレムから始まり、福音が地の果てまで伝えられていきます。ルカの福音書の中心はイエスの復活です。使徒の働きの中心はイエスの昇天であり、イエスは父の右の座で仲介の働きをされ、聖霊を送り、教会を福音の宣教のために力づけたのです。

観察と意味

英語の 'ascend' という単語には、主に二つの意味があります。第一の意味は「上がる」、もう一つは「王座に就く」(王になる)です。日本語に置き換えると、「昇天」に加えて「即位」(階段を登り、王座に着く、のニュアンス)の意味を含みます。イエスは、人として地上で始めた働きのすべてを、王の王として、今も天において続けているのです。

1. 使徒 1:3の「神の国のことを語られた」という表現から、預言者の役割について何を学ぶことができますか (ルカ 24:13-35、使徒 8:26-40も参照)。
2. 使徒 1:5で、イエスが弟子たちに「ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられる」と言ったのは、どういう意味ですか (使徒 1:8、ルカ 24:48、イザヤ 32:15、エゼキエル 11:18-20を参照)？
3. なぜ、弟子たちは聖霊を受ける必要があったのでしょうか？神の国について考えると、聖霊を受ける目的は何だったのでしょうか (使徒 1:8)？
4. 白い衣を着た二人の人が弟子たちに言ったことに注目してください (使徒 1:11)。彼らはなぜそう言ったのでしょうか？弟子たちは何を思い、何を考えていたと思いますか？

適用

- 天に昇ったイエスは、もはや時間や空間に縛られることはありません。イエスは世界全体に働きかけています。このことは、あなたにとってどのような意味がありますか (マタイ 28:20参照)？
- イエスの証人となるようにとの召しが与えられていますが、私たちは立って天を見つめているだけかもしれません。私たちは証人となるというイエスからの命令をどのように忘れ、人生における聖霊の役割をどのように見落としているのでしょうか？
- 福音を語ること、福音を生きることに関し、差し迫っている感覚が薄いのはどのような点においてですか？十字架と聖霊は、あなたがイエスの御国の証人となるために、どのような力を与えてくれますか (預言者、祭司、王の役割を考えてみてください)？

**イエス・キリストは、あなたを国々への代理人 (使節) として召すよりも
ずっと前に、神の前であなたの代理人となりました。**

ペンテコステと呼ばれる日

使徒 2:1-40

使徒 2:1-40

ペンテコステと 呼ばれる日

聖書箇所

使徒 2:1-40

大きな目的

聖霊は、すべての部族と言語の人々が一つとなり、すべての国民に福音の良き知らせを宣べ伝える力を注ぐために、教会に与えられています。ですから私たちは、個人的に、また定期的に、聖霊に満たされる必要があります。自己中心的な利益のためにそうするのではなく、すべての国民に向けて、私たちの生き様が忠実に福音を表し、福音を伝えていくものとなるためです。救いの約束と聖霊の賜物はすべての人に与えられており、とるべき正しい応答は、信仰によって悔い改めてイエスに立ち返ることです。

概要

もし、この箇所に書かれている出来事が本当に起こったのなら、なぜ私たちが教会として集まるたびに起こらないのでしょうか？これらは偶然の出来事ではなく、そのように起こったのには深い理由があるのです。「ペンテコステ」というギリシャ語は「50番目」を意味し、ペンテコステの日はその場にいた人々は、もう一つの「50番目」の出来事を知っていたはずで

す。

使徒の働き2章に書かれている、聖霊が現れ、火の舌として個々の信徒の上にとどまった出来事は「シャブオットの祭り」(ペンテコステの日)に起こりました。これは、ユダヤ人が神から石の板に記された十戒(トーラー)を与えられたことを祝う日と同じ日です。神はこの日を選んで聖霊を遣わし、民の心に神の戒めを書き記しました。これにより、エレミヤ 31:31-34に書かれている神の約束と、イエスが弟子たちに語った約束が確かなものとなったのです(使徒 1:4)。

ペンテコステの日と、モーセがシナイ山から下りてきた日について比較がなされています。

- この二つの出来事はともに、同じ月の同じ時に、贖われたばかりの民に起きたことです。出エジプトはイスラエル民族の誕生、ペンテコステはキリスト教の誕生となりました。
- この二つの出来事は、神の民が贈り物を受け取るというものでした。イスラエルの民は律法（トーラー）を受け、弟子たちは聖霊を受けました。
- イスラエルの民は過越の時にエジプトを出発し、**40**日後にシナイに到着した。そしてモーセは神様に会うために山へ登りました（シナイ山）。**10**日後モーセは十戒（トーラー）を持って下りてきましたが、イスラエルの民は契約を破りました。その結果、**3000**人が死にました（出エジプト 32:28）。イエスは過越の祭りの時に死なれ、**40**日後に神と会うために山へ登られました（オリーブ山）。イエスが昇天した**10**日後に聖霊が下られ、**3000**人が救われました（使徒 2:41）。
- どちらの出来事にも風、火、煙、声といった似通った音やシンボルが出てきます。出エジプト記の「雷」はヘブライ語で「コロト」と言い、「声」や「ことば」を意味します。

- シナイでの火は、1ヶ所においてすべての人が見る事ができました。ペンテコステの炎は、一人一人の上にとどまる個々の炎でした。シナイでは、民は火から遠ざけられていましたが、ペンテコステでは、炎は民のところに来ました。
- どちらの出来事でも、神は戒め（トーラー）を民に与え、またどちらの場合にも、神が民と交わした契約に印を押したのです。シナイでは、神の指によって石の板の上に書かれた律法が与えられました。ペンテコステでは、人々の心に書き記すことで律法が授けられました。
- どちらの出来事でも、多様な人々がその場に居合わせました（出エジプト 12:38、使徒 2:5）。
- 律法（トーラー）は、**外側**から人々を変えようとしていました。聖霊は、人々を**内側**から変えようとしています。「トーラー」という言葉は「教え」を意味し、聖霊は「教える方」と呼ばれています（ヨハネ14:26）。

使徒の働き2章では、神が以前と同じような方法で再び現れました。弟子たちは炎と煙を見、声を聞き、その場が激しく揺れました。神は行動を起こしています。神は何を伝えようとしているのでしょうか？

観察と意味

1. ペンテコステの場面は、旧約聖書の描写をどのように引用し、使徒の働き2章の中で何を表しているのでしょうか？
 - 炎のような舌 (出エジプト 3, 13:21-22)
 - 激しい風 (創世記 1:2, エゼキエル 37:7-10, ヨハネ 3:5-8)
 - 他国のいろいろなことば (詩篇 22:27, 66:4, 72:11, 86:9, 創世記 11:1-9)
 - 神の霊の注ぎかけ (民数記 11:16-30, ヨエル 2:28)
2. なぜ人々は「心を刺され」たのですか (使徒 2:37)? ペテロは「心を刺され」たことに対して、彼らに何をするように促しましたか (使徒 2:38)。
3. ペテロは群衆に「悔い改めて、バプテスマを受けなさい」と言いました (使徒 2:37)。信徒として、水のバプテスマは私たちの人生にどのような意味を持つのでしょうか？
4. 約束とは何ですか (使徒 2:39参照)? その目的は何ですか、また誰に適用されるものですか？

適用

- あなたが神に罪を告白するのを妨げているものは何ですか？「心を刺され」、罪から立ち返ることを妨げるものは何ですか？
- 神の聖さに改めて気づき、自分の罪深さを改めて認識する時 (どちらも聖霊の賜物)、あなたはそのギャップをどのように埋めようとしていますか？本当の自分が露呈しないために、どのような自己努力をするのでしょうか (断絶、比較、批判、自慢、弁護、何かのフリ、戦略など)？
- マルティン・ルターは、「私たちの主であり師であるイエス・キリストが『悔い改めよ』と言われた時、信徒の人生すべてが悔い改めの人生であるようにと望まれた」という有名な言葉を残しています。あなたは日常生活の中で、神からの贈り物である悔い改めをどのように用いていますか？聖霊の約束は、あなたが悔い改めの人生を歩むことをどのように励まし、可能にしてくれますか？

奇跡の名前

使徒 3:1-20

使徒 3:1-20

奇跡の名前

聖書箇所

使徒 3:1-26

大きな目的

イエスは神の御国を始動させました。イエスの名にある信仰によって、神の御国を広げ続けることが私たちの使命なのです。

概要

使徒の働き最初の3章は、3部構成になっています。この3つの章は、聖霊ご自身と、イエスの名を証しするために聖霊が与える力に焦点を合わせています。

1. 使徒たちは聖霊を待ちました。
2. 使徒たちは御霊が降るのを目撃しました。
3. 使徒たちは御霊によって力を与えられました。

奇跡に全面的な焦点を当てた教会に行ったことがある方もいるでしょう。あるいは、実は偽りであったと証明された奇跡的な出来事について聞いたことがある方もいるかもしれません。また、自分たちを宣伝し、富を増やすために奇跡を利用するテレビ伝道師の番組を見たことがあるかもしれません。私たちは、皮肉になることから、人生における神の内的な働きを蔑ろにして外的なしるしや不思議を求めてしまうことから、心を守っていく必要があります。私たちが聖書に基づいて奇跡を理解する必要があるのはそのためです。ヨハネは「イエスは弟子たちの前で、ほかにも多くのしるしを行われた (...) これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたが信じるためであり、また信じて、イエスの名によっていのちを得るためである。」と説明しています(ヨハネ 20:30-31)。

奇跡は上を向いてイエスを指し示します。

奇跡は前を向いて未来を指し示します。

奇跡は内側を向いて私たちが本当に必要としていることを指し示します。

奇跡は後ろを振り返って十字架を指し示します。

観察と意味

1. 足の不自由な人の癒し（使徒 3:1-20）と、イエスが中風の人を癒した時のこと（ルカ 5:17-26）を比べてみてください。この二つの話の間には、どのような共通点と相違点がありますか？
2. ペテロとヨハネは足の不自由な人に「私たちを見なさい」と言い（使徒 3:4）、その後、人々に「どうして (...) 私たちを見つめるのですか」と尋ねています（使徒 3:12）。この明らかな矛盾はどう説明できるのでしょうか？
3. 足が不自由な人は、ペテロとヨハネに何を期待していましたか？ペテロが提供したものは、足の不自由な人が期待していたものよりどのように優れていますか（使徒 3:6）？
4. ルカは、足の不自由な人が「歩いたり飛び跳ねたりしながら、神を賛美」した（使徒 3:8）と記録していますが、これをイザヤの預言の成就と見ています（イザヤ 35:6）。ペテロが「聖なる正しい方」（使徒 3:14）と言っている時も、イザヤの預言（イザヤ 53:11）に言及しているのです。私たち信徒はイエスの苦悩と苦しみを通し、どのような形で奇跡的に癒されたのでしょうか（イザヤ 53:4-5）？

適用

- 奇跡的なものに対して、あなたはどのような見方をしていますか？なぜそのように考えるのでしょうか？
- 神の救いの力は寛大な心を生み出すだけでなく、弱者への思いやりも生み出します。これはペテロとヨハネの、物乞いとの交流に見られるものです。ペテロとヨハネが、この人の体と心を変える神の恵みを届けるために、富は必要ありませんでした。ペテロとヨハネも、この物乞いもお金は持っていませんでした。ですから、足の不自由な物乞いは、癒しと引き換えに差し出せるものは何もありませんでした。イエスは、受ける権利のない人にまでも、その力を広げてくださるのです。あなたはこれから、差し出すものが何もない人々に、どのように神の恵みを届けていくことができますか？
- あなたが経験した具体的な「奇跡的な働き」は何ですか？これは聖化に関することでも、奇跡的な出来事に関することでも構いません。

<https://www.gracecity.jp>

